

高速自動車国道の警防活動要綱

昭和 63 年 3 月 11 日制定

(目的)

第 1 条 この要綱は、山陽自動車道（以下「高速道路」という。）において、中国自動車道及び山陽自動車道における消防相互応援協定（平成 22 年 4 月 14 日）に基づき、高速道路区域内（付属設備含む）における火災、救急、救助事故及びその他の災害事故（以下「災害等」という。）に対する防府市消防本部の出動区域及び警防活動並びに調査の基本を定めるものとする。

(出動範囲)

第 2 条 災害等に対する出動範囲は原則として、次のとおりとする。

- (1) 山陽自動車道の防府東インターから徳山西インターの間の上り線と、防府西インターから山口南インターの間の下り線とする。
- (2) 周南市及び山口市（以下「協定市」という。）から応援要請があった場合又は消防長の特命による場合はこの限りでない。

(出動区分)

第 3 条 災害等に対する出動区分は、警防活動に係る出動体制運用基準のとおりとする。

(通信指令課の対応)

第 4 条 高速道路区域内において、災害等が発生した場合の通信指令課（以下「指令課」という。）の対応は、次のとおりとする。

- (1) 災害等の通報を受理する際には、発生場所、災害等の種別、規模、負傷者数、通報者の氏名、その他必要な事項について状況を確実に把握し、的確な出動指令を行うものとする。
- (2) 災害の発生場所が協定市の行政区域である場合又は防府市と協定市との行政区域にまたがる場合は、協定市の消防本部に受理した状況を速やかに通報するものとする。
- (3) 前各号にかかわらず、全ての場合、必要、参考となる情報を速やかに協定市の消防本部に通報するよう努めるものとする。

(出動隊の優先任務)

第 5 条 出動隊は、高速道路に設置してある消防用設備を有効に活用し、人命救助を最優先として活動するものとする。

(先着隊の状況報告)

第6条 先着隊の隊長は、現場指揮を行うとともに、西日本高速道路株式会社の業務電話（バッテンスキーを含む）又は消防無線を有効に活用し、指令課に災害等の状況及び応援の有無などについて即報しなければならない。

(西日本高速道路株式会社への協力要請)

第7条 出動隊の活動に際し必要があるときは、西日本高速道路株式会社に対して人員及び資機材の協力を要請するものとする。

(災害等の調査報告書)

第8条 災害等の調査報告は、次のとおりとする。

- (1) 火災の原因、損害の調査及び統計事務処理は「火災報告取扱要領」の定めるところによる（出火場所の行政区域を管轄する消防本部において最終処理をする。）。
- (2) 救急及び救助事故の取扱いについては「救急事故報告取扱要領」の定めるところによる（出動した消防本部において最終処理をする。）。
- (3) 行政区域外の火災に出動し、火災の調査を行った場合は、速やかに当該火災に関する調査書類に火災出動報告書を添えて協定市の消防本部に送付しなければならない。

(トンネル災害等警防活動要領)

第9条 トンネル災害等での警防活動要領は、次のとおりとする。

- (1) 出動隊は、予備ボンベ、必要資機材等を車両に積載して出動するものとする。
- (2) 消防署の初動活動はトンネル火災初動活動要領のとおりとするが、災害等の状況によっては臨機応変に対処するものとする。(水利状況については別添図参照)

附 則

この要綱は、昭和63年4月1日から施行する。

附 則

この要綱は、平成17年4月1日から施行する。

附 則

この要綱は、平成18年4月1日から施行する。

附 則

この要綱は、平成 23 年 4 月 1 日から施行する。

備考

西日本高速道路株式会社が設置しているトンネルの消火設備の概要

(A型消火栓)

初期消火用設備で前傾式、ホースリールにノズル付 30mホース (32mm) 1本が巻いてある。

放水量は 130 ・ /分以上、加圧ポンプの起動スイッチ (押ボタン又は消火栓コック開閉) が付いている。(No.2 - 1 参照)

(B型消火栓)

消防隊専用の給水栓 (65mm) が付いている他は、A型消火栓と同じ。(No.2 - 2 参照)

(給水栓)

消防隊専用で消防車がこれから給水を受けるものである。屋外地上式、トンネル内地上式があり、いずれも単口 (65mm) で加圧ポンプ又は送水栓から送水される。

(送水栓)

屋外地上式の双口 (65mm) で、消防車がこれから給水栓及び消火栓に送水するものであるが、消火栓の加圧ポンプ稼動中に送水してはいけない。(加圧ポンプの故障につながる。)

(加圧ポンプ)

下記トンネルの各受電所ポンプ室に設置

(天神山トンネル)

125m × 1,190 ・ /分 × 62m × 30 k w

(口径) (揚水量) (揚程) (出力)

(大平山トンネル)

125m × 1,190 ・ /分 × 83m × 37 k w

(口径) (揚水量) (揚程) (出力)

(椿トンネル)

125m × 1,190 ・ /分 × 60m × 22 k w

(口径) (揚水量) (揚程) (出力)

(花ヶ丘トンネル)

125m × 1,190 ・ /分 × 60m × 22 k w

(口径) (揚水量) (揚程) (出力)

A型消火栓、B型消火栓、給水栓の配管は上下線がループされており。上下線トンネルのどの部分で起動させても、使用可能となる。ただし主水そうは、いずれも60 tである。

トンネル火災初動活動要領

樺トンネル（B級）			
上り線	1,145m	下り線	1,188m
水利	トンネル西側入口の西方約5m付近及び東側出口の東方約10m付近に消火栓（給水栓）が各1基。また、トンネル内にB型消火栓が概ね180mごとに7基配置されている。		
備考	トンネル東側に30tの水そうがある。		

富海トンネル（D級）			
上り線	319m	下り線	327m
水利	大平山トンネル東側出口の東方約24m付近に消火栓（給水栓）が設けられている。 （大平山トンネル東側出口から富海トンネル入口まで概ね600m）		
備考			

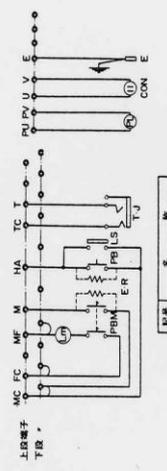
大平山トンネル（B級）			
上り線	1,737m	下り線	1,797m
水利	トンネル西側入口の西約36m付近及び東側出口の東方約24m付近の道路北側に消火栓（給水栓）が各1基。また、トンネル内にB型消火栓が概ね200mごとに10基配置されている。		
備考	消火栓（給水栓）及びB型消火栓には、60tの水そうから送水されている。その他の水利として、西側入口の西方約75m付近の道路北側に20tの無蓋水そうがある。		

天神山トンネル（B級）			
上り線	1,805m	下り線	1,803m
水利	トンネル西側入口の西約14m付近及び東側出口の東方約29m付近の道路北側に消火栓（給水栓）が各1基。また、トンネル内にB型消火栓が概ね200mごとに10基配置されている。		
備考	東入口の東方約40m付近（下り線）の道路南側にある60tの水そうから当該消火栓（給水栓）に加圧送水される。又、補水は工業用バルブを開けば随時供給される。		

花ヶ岳トンネル（B級）			
上り線	970m	下り線	1,026m
水利	トンネル東側約4m付近及び西側出口の西方約7m付近に消火栓（給水栓）が各1基設けられている。また、トンネル内にB型消火栓が概ね120～190mごとに5基配置されている。		
備考	トンネル東側約40m東方に約40tの泥水そう（無蓋）がある。トンネル東側（上り線）機械室の一角に約5tのトンネル排水流入そう（有蓋）がある。		

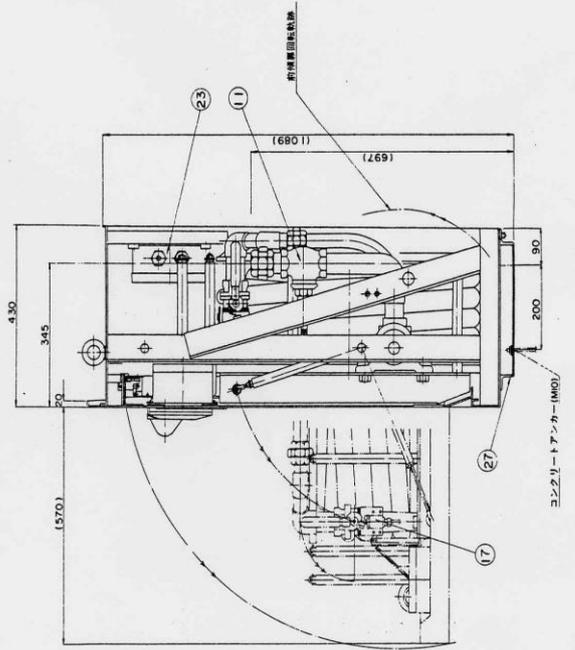
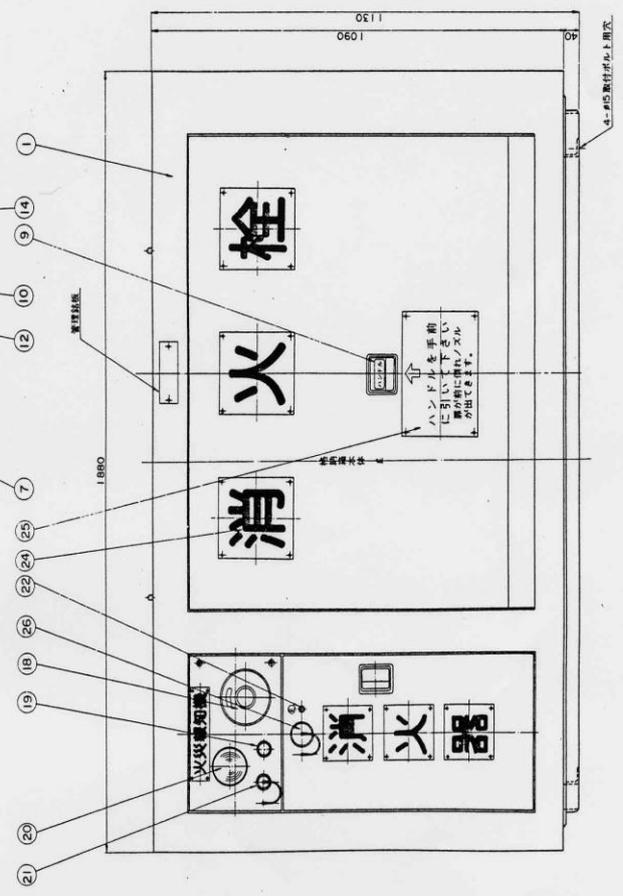
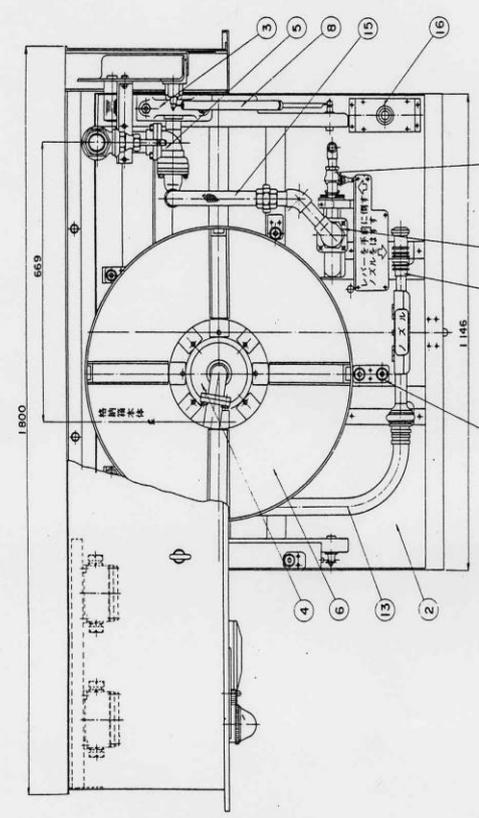
トンネル内消火栓 (A型) 姿図 (監査路有り)

部品名	仕様	材質	数量	備記
1 栓体	本体	FRP	1	40A 圧入用
2 防振用脚	FRP	FRP	2	
3 防振用脚	FRP	FRP	2	
4 リール巻取機	BC 6	FRP	1	
5 巻取機	BC 6	FRP	1	
6 巻取機	BC 6	FRP	1	
7 巻取機	BC 6	FRP	1	
8 巻取機	BC 6	FRP	1	
9 巻取機	BC 6	FRP	1	
10 巻取機	BC 6	FRP	1	
11 圧入用脚	FRP	FRP	1	40A 圧入用
12 巻取機	BC 6	FRP	1	
13 コムホース	500m	FRP	1	500m 30A JISK 6331
14 大気用脚	本体 BC	FRP	1	15A 圧入用
15 フレキシブルチューブ	本体 BC	FRP	1	ノンロック式
16 フレキシブルチューブ	本体 BC	FRP	1	ノンロック式
17 フレキシブルチューブ	本体 BC	FRP	1	ノンロック式
18 巻取機	本体 SPC	FRP	1	自己巻取式
19 巻取機	本体 SPC	FRP	1	自己巻取式
20 巻取機	本体 SPC	FRP	1	自己巻取式
21 巻取機	本体 SPC	FRP	1	自己巻取式
22 巻取機	本体 SPC	FRP	1	自己巻取式
23 巻取機	本体 SPC	FRP	1	自己巻取式
24 巻取機	本体 SPC	FRP	1	自己巻取式
25 巻取機	本体 SPC	FRP	1	自己巻取式
26 コンセント	125V 5A 2P	FRP	1	
27 架	SS41形鋼	FRP	2	ABC 軸長 690



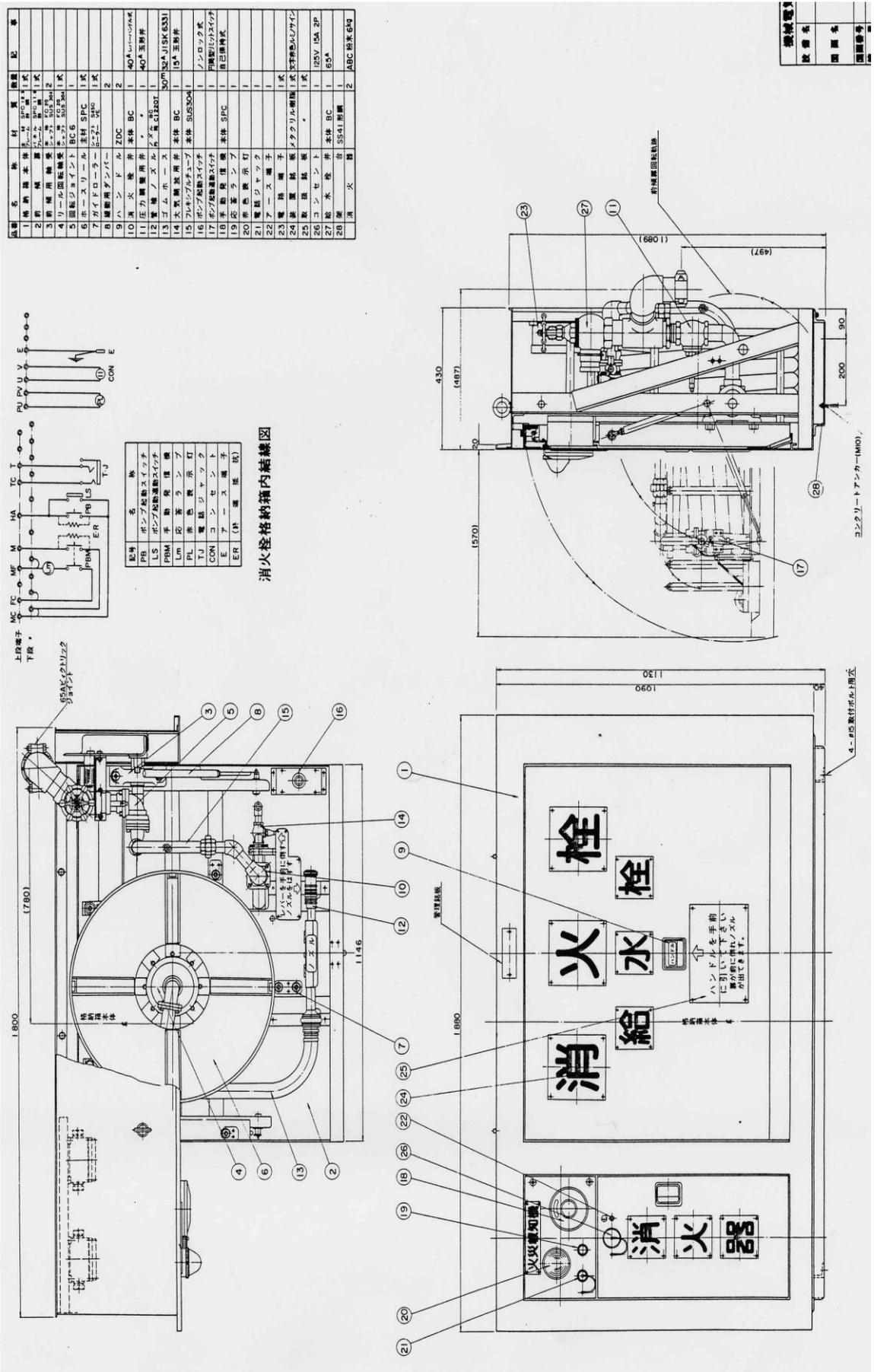
記号	名称
PB	ポンプ駆動スイッチ
LS	ポンプ駆動停止スイッチ
PBM	巻取機
Lm	巻取機
T.J	巻取機
CON	コンセント
ER	(巻取機)

消火栓格納箱内結線図



図名	トンネル内消火栓 (A型) 姿図
図番	トンネル内消火栓 (A型) 姿図
作成者	

トンネル内消火栓 (B型) 姿図 (監査路有り)



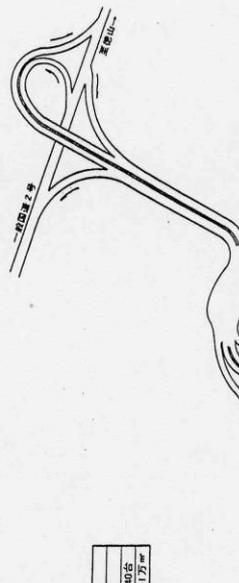
部品名	仕様	材質	数量	備考
1	消火栓本体	BC	1	40A 監視用
2	前検用機	BC	1	40A 監視用
3	リール巻取機	BC	2	50A 監視用
4	回転シャフト	BC	1	50A 監視用
5	ホースリール	SFC	1	50A 監視用
6	ガイドローラー	SFC	1	50A 監視用
7	ハンズ	ZDC	2	
8	消火栓本体	BC	1	40A 監視用
9	ハンズ	ZDC	2	
10	圧力調整弁	BC	1	40A 監視用
11	圧力調整弁	BC	1	40A 監視用
12	圧力調整弁	BC	1	40A 監視用
13	圧力調整弁	BC	1	40A 監視用
14	圧力調整弁	BC	1	40A 監視用
15	圧力調整弁	BC	1	40A 監視用
16	圧力調整弁	BC	1	40A 監視用
17	圧力調整弁	BC	1	40A 監視用
18	圧力調整弁	BC	1	40A 監視用
19	圧力調整弁	BC	1	40A 監視用
20	圧力調整弁	BC	1	40A 監視用
21	圧力調整弁	BC	1	40A 監視用
22	圧力調整弁	BC	1	40A 監視用
23	圧力調整弁	BC	1	40A 監視用
24	圧力調整弁	BC	1	40A 監視用
25	圧力調整弁	BC	1	40A 監視用
26	圧力調整弁	BC	1	40A 監視用
27	圧力調整弁	BC	1	40A 監視用
28	圧力調整弁	BC	1	40A 監視用

記号	名称
PB	ボンブ駆動スイッチ
LS	ボンブ駆動スイッチ
PBM	手動警報装置
Lim	圧差リミット
PL	赤色警報灯
CON	警報制御盤
ER	警報装置
ER (外)	警報装置 (外)

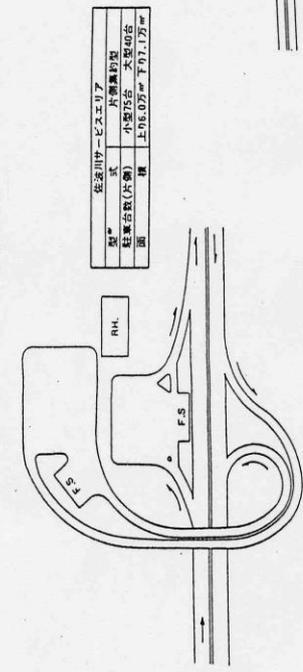
消火栓格納箱内結線図

図名	図番	図号
消火栓	1	1000000

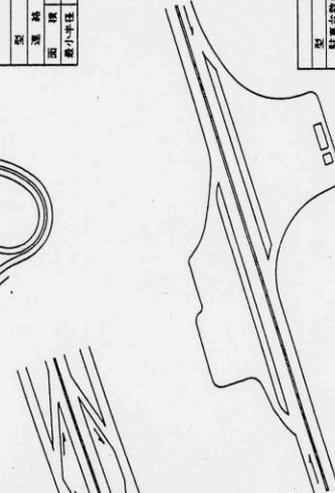
インターチェンジ等施設図



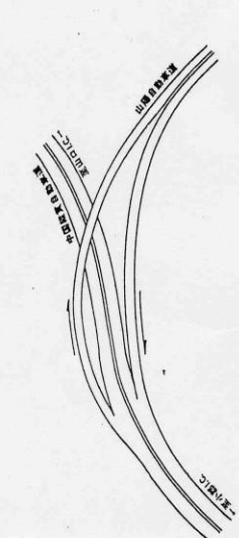
徳山西インターチェンジ	
型式	ダイヤトランペット型
運路	一般国道2号
面積	14.57㎡
敷小半径	40m
敷急勾配	敷2種(級A) 6.0%



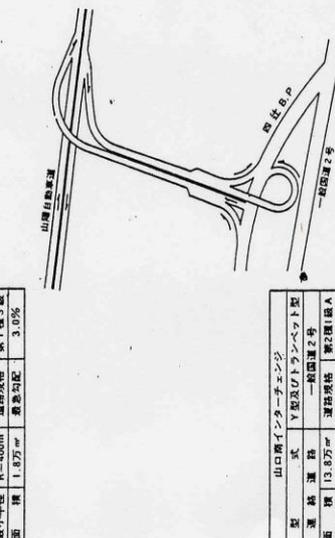
佐渡川サービスエリア	
型式	標準形
敷小半径	40m
敷急勾配	敷2種(級A) 6.0%
面積	175.07㎡
敷小半径	40m
敷急勾配	敷2種(級A) 6.0%



徳山サービスエリア(大規模)	
型式	標準形
敷小半径	40m
敷急勾配	敷2種(級A) 6.0%
面積	175.07㎡
敷小半径	40m
敷急勾配	敷2種(級A) 6.0%

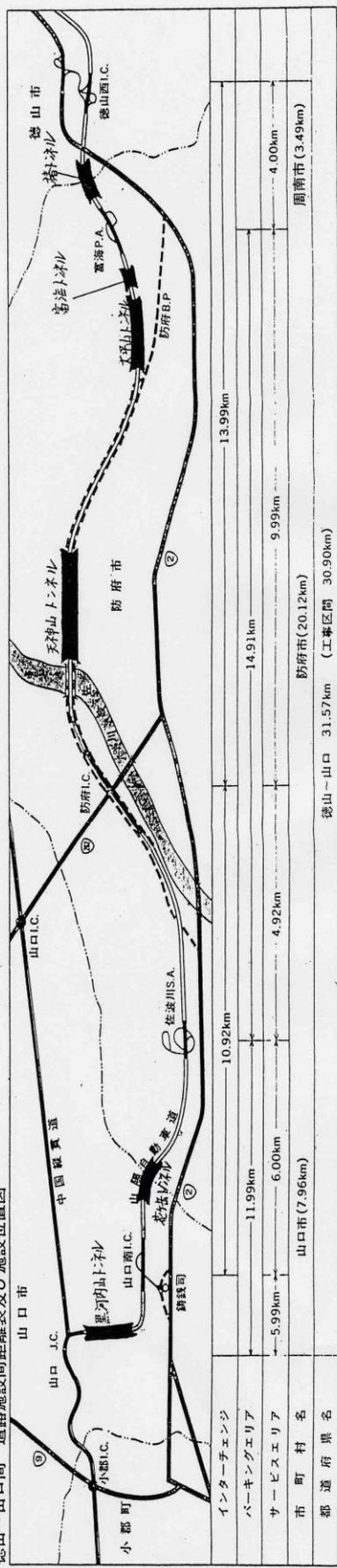


山口ジャンクション	
型式	Y型
運路	中国縦貫自動車道
面積	13.87㎡
敷小半径	40m
敷急勾配	敷1種(級A) 3.0%

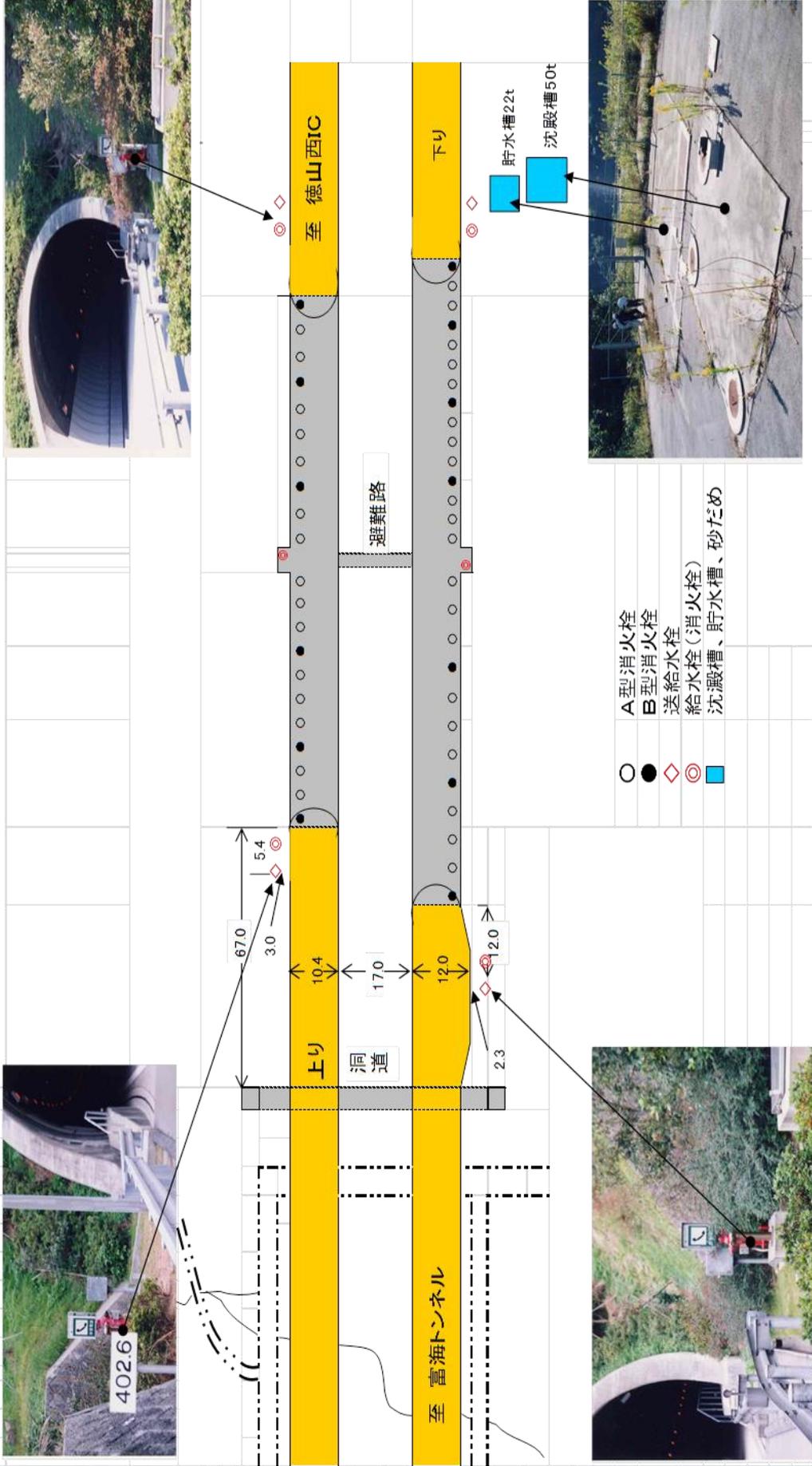


山口ジャンクション	
型式	Y型
運路	中国縦貫自動車道
面積	13.87㎡
敷小半径	40m
敷急勾配	敷1種(級A) 3.0%

徳山～山口間 道路施設間距離表及び施設位置図



樁トンネル(全長上り1,145.0m 下り1,187.5m)



富海トンネル(全長上り319.0m 下り326.9m)

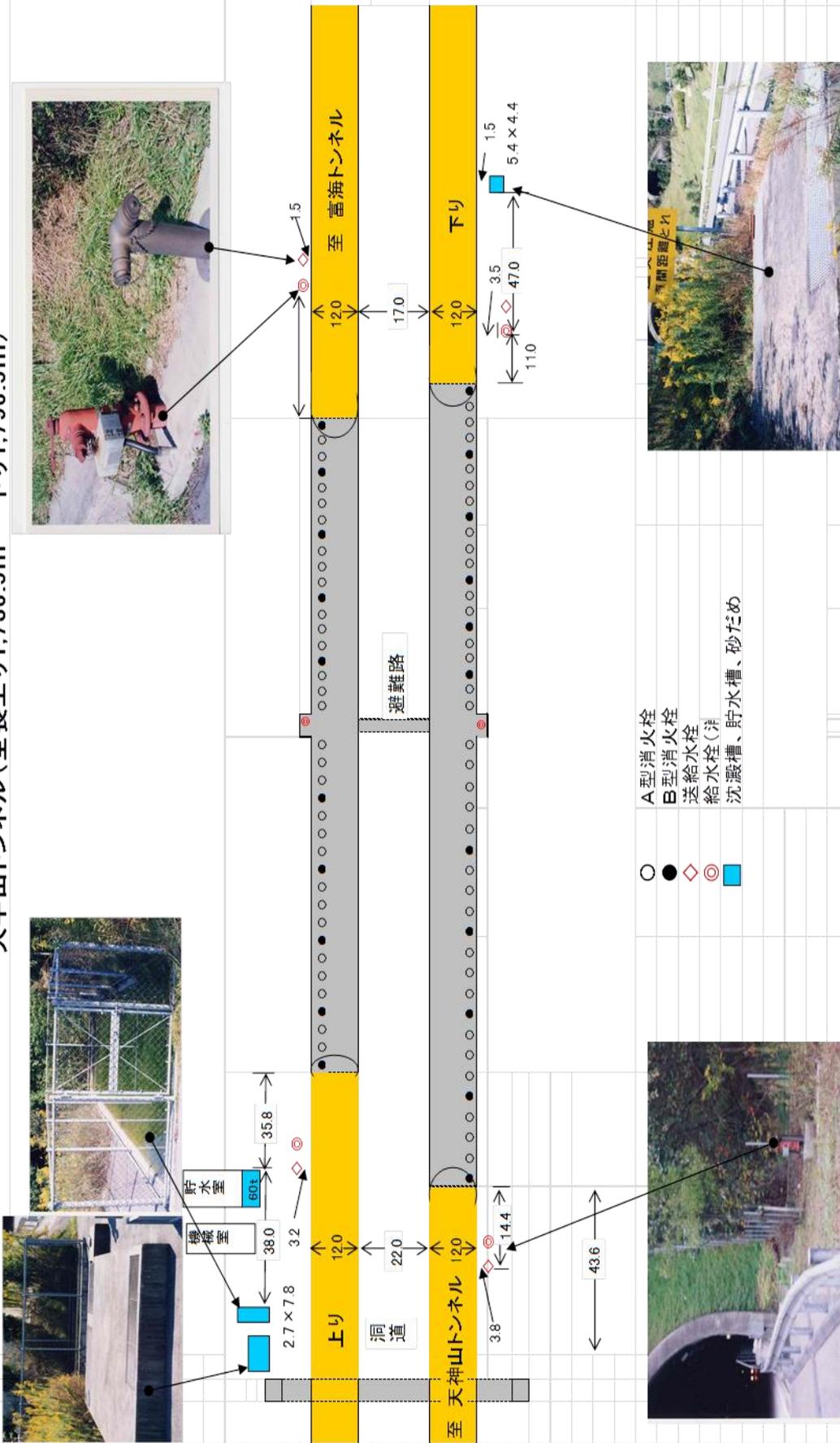
上り

至 樫トンネル

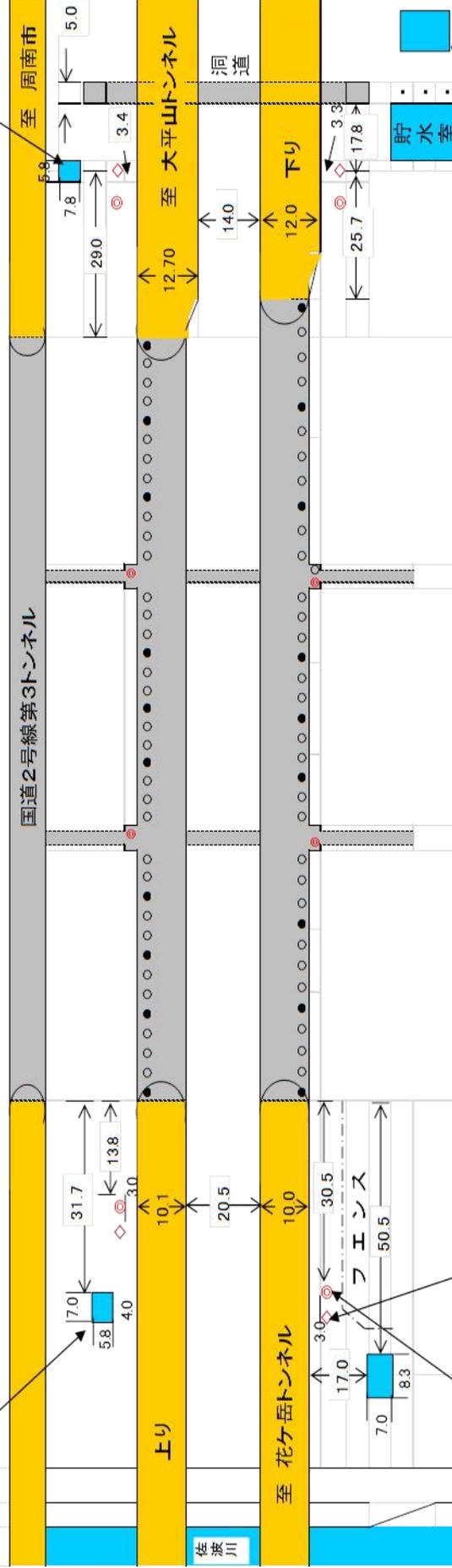
至 大平山トンネル

下り

大平山トンネル (全長上り1,736.5m 下り1,796.5m)



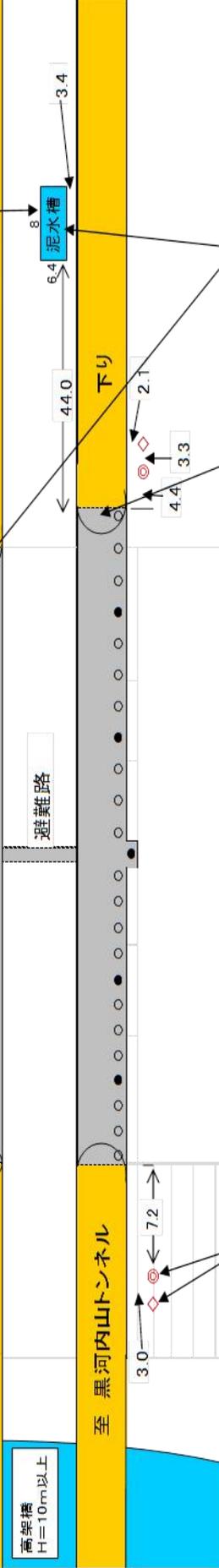
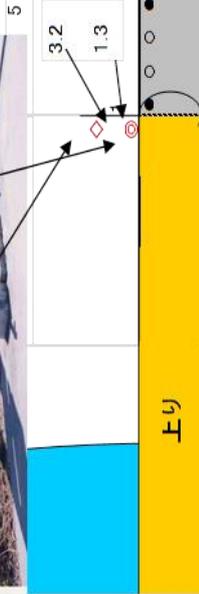
天神山トンネル(全長上り1,805.0m 下り1,803.0m)



- A型消火栓
- B型消火栓
- ◇ 送給水栓
- ◇ 給水栓(消火栓)
- ◇ 沈殿槽、貯水槽、砂だめ
- ◇ 工業用バルブ(80ミリ)
- ◇ バルブ開放により、貯水室にある水を60tに補水され、消火設備に送水される



花ヶ岳トンネル(全長上り966.0m 下り1,026.0m)



- A型消火栓
- B型消火栓
- ◇ 送給水栓
- ◎ 給水栓(消火栓)
- 沈殿槽、貯水槽、砂だめ